

平成 27 年度八王子市青少年問題協議会

第 3 回検討会 会議録

名称： 平成 27 年度八王子市青少年問題協議会第 3 回検討会

日時： 平成 28 年 1 月 22 日（金）午前 10 時～11 時

場所： 八王子市役所本庁舎 7 階 701 会議室

次第

- 1 挨拶
- 2 第 2 回検討会会議録（案）について（確認）
- 3 平成 28 年度重点目標リーフレット第 2 回検討会における主な指摘事項及び修正案について
 - ・八王子市青少年健全育成基本方針 平成 28 年度 重点目標リーフレット（案）
 - ・関連事項：電子機器の影響について …春田委員
- 4 平成 28 年度八王子市青少年健全育成推進区域の指定について
- 5 八王子市青少年健全育成基本方針平成 27 年度重点目標に関する取組照会について
- 6 情報提供
 - (1) 最近の青少年の非行情勢について
 - (2) 第 1 回八王子市中学生ミーティング 「スマホのある生活を考える」
 - (3) 講演会「食による人間改革」
 - (4) その他

【出席】

八王子市青少年対策地区委員会連絡会代表	関口 眞吾	委員
八王子地区保護司会代表	大竹 通夫	委員
都立高等学校校長会代表	平野 篤士	委員
八王子市立中学校長会代表	清水 和彦	委員
八王子市立小学校長会代表	春田 道宏	委員
八王子市立中学校PTA連合会代表	加地 弘子	委員
八王子市立小学校PTA連合会代表	秋間 勝仁	委員
八王子市青少年育成団体連絡協議会代表	立川 富美代	委員
八王子警察署生活安全課少年第一係	篠原 健志	委員
南大沢警察署生活安全課少年第一係	後藤 成	委員
八王子市教育委員会事務局学校教育部 統括指導主事	佐藤 晴美	委員
八王子市子ども家庭部子どものしあわせ課長	平塚 裕之	委員
八王子市子ども家庭部 子ども家庭支援センター館長	福田 秀之	委員
八王子市健康部生活衛生課長	山野井 寛之	委員
八王子市生活安全部防犯課長	宮木 高一	委員
八王子市子ども家庭部児童青少年課長	佐藤 晴久	委員 座長

出席 16名

(事務局) 子ども家庭部児童青少年課

中山、小池、松日樂、若林

【配布資料】

- (1) 平成 27 年度八王子市青少年問題協議会第 3 回検討会 次第及び資料
- (2) 平成 27 年度 青少年問題協議会第 2 回検討会 会議録 (資料 1)
- (3) 青少年健全育成基本方針 平成 28 年度重点目標リーフレット (案) (資料 2)
- (4) 電子機器の影響について (資料 3)
- (5) 第一回八王子市中学生ミーティング 「スマホのある生活を考える」チラシ
(参考資料)
- (6) 講演会「食による人間改革」チラシ (参考資料)
- (7) 青少年育成ハンドブック (参考資料)

【議事要点】

1. 挨拶

児童青少年課長から挨拶

2. 第2回検討会会議録（案）について（確認）

資料1に基づき事務局から会議録の内容について確認

→委員からの意見等なし

【決定事項】

第2回検討会 会議録を確定

3. 平成28年度重点目標リーフレット第2回検討会における主な指摘事項及び修正案について

資料1～3頁、資料2に基づき事務局から説明

関連事項：電子機器の影響について

資料3に基づき八王子市立小学校長会代表 春田委員より説明

〈補足説明〉

- ・仙台医療センターからの警鐘・提言であるが、「2. 具体的提言」の内容については多くの団体から同じような提言がされている。
- ・「スマホに子守をさせないで！」という言葉はいろいろなところで目にする。レストランなどで家族で食事している時に子どもがゲームやスマホをずっと使っておとなしくしているということがある。子どもに機器を渡すことで静かになるので、親はほっとするのかもしれないが、それがどれだけ子どもにとって危険かという警鐘を鳴らす内容となっている。
- ・前回もこの会議で話したが、スティーブ・ジョブズ氏は自分の家庭では子どもがスマホなどを使うことを厳しく制限していた。また、IT関連の要職にある人は自分の子どもに対してジョブズ氏と同じような対応をしているということも紹介されている。
- ・大人がこうした知識を持って子どもたちを育てていくことの大切さを伝えるために資料を紹介した。

【春田委員】

「勇気」「知恵」「思いやりの心」は3つのキーワードである。学校便りでより伝えるための工夫としてするように、キーワードを強く伝えるために二重かっこを付けてはどうか。

【大竹委員】

全体の字数の制限も考えたうえで検討してはどうか。

【関口委員】

全体的に良くまとまっていると思う。

チェックリストの吹き出しの「お母さん、お父さんチェックしてみましょう！」の言葉が左側の人物から離れてしまい、吹き出しの位置が悪いように感じる。吹き出しではなく丸い枠にしたり、人物の横に「チェック」と入れたりするなどの工夫があると見やすくなるのではないかな。

また、チェックリストを囲む枠がついて上段と区別された点は改善されたが、枠の角が四角く、少し硬い印象のため、角を丸くするなどするともう少し見やすくなる感じる。

【事務局】

「平成 27 年度振り返りチェックリスト」のタイトルを左側に配置し、吹き出しを右側に配置したが、吹き出しが人物と離れてしまい確かに人物との関係性がわかりにくくなってしまっている。見やすくなるように工夫する。枠については事務局での検討においては、角が丸い枠の案もあったが、他のトピックとの違いを分かりやすくするように提案のようにした。頂いたご意見を踏まえ再考する。

【大竹委員】

よく出来ていて、この内容で良いと思う。

→その他、委員から特に意見等なし。

【決定事項】

検討会としてリーフレット内容について了承。ただし、指摘箇所については修正し、事務局案を協議会に提案することとする。

4. 平成 28 年度八王子市青少年健全育成推進区域の指定について

資料 4～5 頁に基づき事務局から説明

→委員から特に意見等なし。

【決定事項】

検討会として内容について了承。青少年問題協議会に提案することとする。

5. 八王子市青少年健全育成基本方針平成 27 年度重点目標に関する取組照会について

資料 6～8 頁に基づき事務局から説明

【事務局】

事務局としても照会した全機関・団体から回答が得られるよう今後も依頼していくので、皆様からも関係各所への働きかけをお願いしたい。

→その他、委員から特に意見等なし。

【決定事項】

取組結果については、青少年問題協議会において報告する。

6. 情報提供

(1) 最近の青少年の非行情勢について

南大沢警察署生活安全課第一係長 後藤委員から口頭説明

【後藤委員】

SNSについては、警察ではサイバー補導を行っている。全国的に実施しているが一番先進的に行っているのは警視庁で、他府県からもどのような補導を行っているか問い合わせが来ている。南大沢警察署では少年育成課で主導となり、サイバー補導を行っている。補導対象としては、高校生については援助交際が多く、なかでもツイッターで相手を探していることが一番多い。そこを警察官が相手方に成りすまし、補導している。実際に子どもがこれまでに性的被害に遭っている状況が把握できれば、関係を持つ大人については事件化し逮捕している。ただ警察がこうしたサイバー補導をしているということが子どもたちにも知れ渡っているので、子どもたちの言葉に合わせた書き込みをしても見透かされてしまうこともある。試行錯誤しながら子どもが被害に遭わないように実施している。

平成26年の件数であるが、警視庁では年間350人ほど補導している。都内だけではなく、関東近県からそういった目的で来ている子どもたちや家出をずっと続けている子どももいる。

また、警察でも防止のための教室を実施している。

(2) 第1回八王子市中学生ミーティング 「スマホのある生活を考える」

八王子市立中学校PTA連合会代表 加地委員から「第一回八王子市中学生ミーティング「スマホのある生活を考える」」チラシに基づき説明

〈補足説明〉

- ・市長、教育長も出席する。
- ・当日の会場も広いので、ぜひご出席いただけたらと思う。

【佐藤晴美委員】

当事業については、小学校PTA連合会にも周知している。やはり中学校だけでなく小学校も中学校も保護者と連携していくことが大切と考えている。

(3) 講演会「食による人間改革」

事務局より「講演会「食による人間改革」」チラシに基づき説明

(4) その他

【佐藤晴美委員】

東京都教育委員会のホームページにはすでに掲載されているが、SNSのルールづくりについて学校でルールを作る予定となっている。八王子市では、すでに中学校PTA連合会がSNSについて課題認識し、学校も子どもたちと話し合いを行うなど取り組んでいる。

東京都教育委員会からは今年度中に学校ルールを作るよう言われている。これまで八王子で行ってきたことを大切にしたいため、今、小・中学校の全家庭を配布対象とした冊子案を検討している。中学校PTA連合会主催の「中学生ミーティング」の内容を踏まえて小学校PTA連合会にも協力を依頼し、一冊の冊子を作りたいと考えている。

校長会にも内容が固まり次第、説明していく。また学校関係だけでなく地域でも一緒に見守りということを見ていただきたいと考えている。冊子の掲載内容についてある程度の方方向性が示せる段階になった際に冊子案を示しながら、各委員の皆様にもご相談させていただきたいと考えている。

現在の検討状況としては、裏面には八王子市としてのインターネットや SNS 等の「時間を決めよう」、「価値ある使い方はなんだろう、考えましょう」といったレベルの利用に係る指針を示して、学校の SNS のルールを書く欄や家庭のルールを書く欄を設けたいと考えている。

またご意見等をいただけたらと思うので、よろしく願います。

【平野委員】

SNS 東京ルールについては、東京都教育委員会から最初に都立高校の校長会に話があった時に「ルールということは罰則を作らないといけないのか」、「なかなかそこまでは難しいだろう」という意見があった。都立高校で多い手法は教員のみで決めるのではなくて生徒会を中心とした生徒にまず考えさせて、生徒が守れるような実効性のあるものを作ろうという学校が一番多い。

今回の重点目標リーフレットについても高校であれば重点化するポイントも違うと考えるが、小中学生が主な対象であればこうした内容になるのだろうと考えている。

東京都の都立高校でいうと、例えばツイッターなどでの行きすぎた投稿や発言がトラブルに発展するという件数が圧倒的に多く、その次に LINE の問題がある。Facebook でトラブルが起きたというのはあまり聞いたことがない。ネット検索で SNS という代表的なものはやはり Facebook と LINE が上がってくるので小中学生対象と考えるとリーフレットに例として挙げることは良いのかもしれない。

また「知恵」については、高校生でいうと「判断力」となってくると思う。高校だと SNS 東京ルールについてそれぞれの学校で置かれている状況も生徒の気質も違うので、生徒が実際に守れるレベルのものを学校判断で作成することになると思う。

【佐藤晴久委員】

高校では、冊子やリーフレットを作成するというような話はないのか。

【平野委員】

高等学校 PTA 連合会と連携してというものは今のところ聞いていない。それぞれの学校で生徒会を中心とした生徒と生活指導の間でルールを作るという方向になりそうである。

第 155 回青少年問題協議会の開催について

事務局より説明

日時 平成 28 年 2 月 22 日（月） 午前 10 時～12 時 市役所 8 階 803 会議室